

チアメトキサム：0.045、0.018 ppm

クロチアニジン：0.016、0.011 ppm

日本なし（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（400L/10a）を4回散布したところ、散布後12、19日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：0.039 ppm

クロチアニジン：0.016 ppm

日本なし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（300L/10a、400L/10a）を3回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.32、0.14 ppm

クロチアニジン：<0.02、0.04 ppm

#### ⑤4 もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（400L/10a、350L/10a）を3回散布したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.008、0.059 ppm

クロチアニジン：0.046、0.080 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（400L/10a、350L/10a）を3回散布したところ、散布後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.10、0.23 ppm

クロチアニジン：0.15、0.26 ppm

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回地表表面処理（200g/樹）したところ、散布後30日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：<0.02、<0.02 ppm

クロチアニジン：<0.02、<0.02 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回地表表面処理（200g/樹）したところ、散布後30日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：<0.1、<0.1 ppm

クロチアニジン：<0.1、<0.1 ppm

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液(500L/10a、400L/10a)を3回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.12、0.14 ppm

クロチアニジン：0.08、0.12 ppm

もも（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液(500L/10a、400L/10a)を3回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：2.64、1.90 ppm

クロチアニジン：0.53、0.61 ppm

#### ㉞すもも

すもも（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液(300L/10a、500L/10a)を3回散布したところ、散布後7～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.03、<0.02 ppm

クロチアニジン：<0.02、<0.02 ppm

#### ㉟うめ

うめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液(600L/10a、400L/10a)を2回散布したところ、散布後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.089、1.080 ppm

クロチアニジン：0.117、0.242 ppm

#### ㊱おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液(500L/10a)を2回散布したところ、散布後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：1.36、1.62 ppm

クロチアニジン：0.12、0.139 ppm

#### ㊲いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回株元処理(2g/株)したところ、処理後92～139日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：0.014、<0.005 ppm

クロチアニジン：<0.005、<0.005 ppm

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回株元散布（2g/株）、1回植穴処理（2g/株）及び10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（250L/10a、200L/10a）を2回散布したところ、施用後7日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：0.620、0.266 ppm

クロチアニジン：0.010、0.007 ppm

#### ⑤9 ぶどう

ぶどう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（300L/10a、500L/10a）を2回散布したところ、処理後7～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.540、0.943 ppm

クロチアニジン：0.122、0.053 ppm

#### ⑥0 かき

かき（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（500L/10a）を3回散布したところ、処理後3～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.320、0.164 ppm

クロチアニジン：0.012、0.019 ppm

#### ⑥1 バナナ

バナナ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（200L/10a）を3回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.19、0.28 ppm

クロチアニジン：<0.02、<0.02 ppm

#### ⑥2 グアバ

グアバ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（313L/10a、200L/10a）を2回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.03、0.02 ppm

クロチアニジン：<0.02、<0.02 ppm

#### ⑥3 マンゴー

マンゴー（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（167L/10a、300L/10a）を2回散布したところ、処理後14～28日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.03、0.02 ppm

クロチアニジン：0.03、0.04 ppm

④いちじく

いちじく（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（330L/10a、500L/10a）を2回散布したところ、処理後1～14日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.56、0.43 ppm

クロチアニジン：0.12、<0.1 ppm

⑤アセロラ

アセロラ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（165L/10a、556L/10a）を2回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.06、0.22 ppm

クロチアニジン：<0.04、0.09 ppm

⑥茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（200L/10a）を1回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：7.13、2.28 ppm

クロチアニジン：0.25、0.07 ppm

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（200L/10a）を1回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：6.08、1.54 ppm

クロチアニジン：0.23、0.06 ppm

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水和剤の2000倍希釈液（200L/10a）を1回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：9.60、3.23 ppm

クロチアニジン：0.17、0.09 ppm

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水和剤の2000倍希釈液（200L/10a）を1回散布したところ、処理後7～21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：8.40、2.81 ppm

クロチアニジン：0.15、0.08 ppm

#### ㊦セージ

セージ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（200L/10a）を3回散布したところ、処理後21日の最大残留量は以下のとおりであった。

チアメトキサム：0.47、0.54 ppm

クロチアニジン：0.12、0.06 ppm

#### ㊧あさつき

あさつき（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回作条処理（9kg/10a）したところ、処理後23～60日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：0.31、0.08 ppm

クロチアニジン：0.05、<0.05 ppm

あさつき（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、0.5%粒剤を1回作条処理（9kg/10a）、1回株元処理（9kg/10a）、及び10%顆粒水溶剤の2000倍希釈液（150L/10a）を3回散布したところ、処理後3～14日の最大残留量は以下のとおりであった。ただし、これらの試験は規定範囲内で行われていない。

チアメトキサム：2.26、0.88 ppm

クロチアニジン：0.18、0.05 ppm

これらの試験結果の概要については、別紙1-1、海外で実施された作物残留試験成績の結果の概要については、別紙1-2を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

注2) 適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

### 7. 乳牛における残留試験

乳牛に対して0、2、6、20ppmの飼料中濃度に相当する量のチアメトキサムを含有するゼラチンカプセルを28-30日間にわたり摂食させ、牛乳、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるチアメトキサム及びクロチアニジン含量を測定した。また、牛乳については、投与開始後0、1、3、7、14、21、26日目に搾乳したものを測定した（定量限界：チアメトキサム0.005ppm、クロチアニジン0.005ppm）。筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓については、投与開始後、28、29、30日目に採取したものを測定した（定量限界：チアメトキサム0.01ppm、クロチアニジン0.01ppm）。結果については表1参照。

上記の結果に関連して、米国では、最大理論的飼料由来負荷（MTDB）<sup>(注)</sup>は肉牛 0.77ppm、乳牛 0.98ppm 及び豚 0.088ppm と評価している。

表 1. 牛乳及び各組織中の最大残留（ppm）

	2ppm 投与群		6ppm 投与群		20ppm 投与群	
	チアメトキサム	クロチアニジン	チアメトキサム	クロチアニジン	チアメトキサム	クロチアニジン
筋肉	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.06	<0.01
脂肪	-	-	-	-	<0.01	<0.01
肝臓	<0.01	0.049	<0.01	0.139	<0.01	0.384
腎臓	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	<0.01
牛乳	0.01	0.006	0.05	0.02	0.17	0.07

注) 最大理論的飼料由来負荷（Maximum Theoretical Dietary Burden：MTDB）：飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

## 8. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対してチアメトキサム 0、0.2、0.6、2、10ppm 含有する飼料を 28 日間にわたり自由に摂取させ、投与終了後 20-24 時間後の筋肉、皮膚、脂肪、肝臓に含まれるチアメトキサム、クロチアニジン及び代謝物 CGA-265307 を測定した。また、鶏卵についても投与開始後 1、3、7、14、21、28 日に採卵しチアメトキサム、クロチアニジン及び代謝物 CGA-265307 について測定した（定量限界：0.01ppm）。その結果、10ppm 投与群の鶏卵から、クロチアニジンが 0.01ppm（採卵日 28 日目）、代謝物 CGA-265307 が 0.01-0.04ppm（採卵日 3-28 日）検出されたが、その他についてはいずれも定量限界未満であった。

上記の結果に関連して、米国では MTDB を 0.232ppm と評価している。また、鶏卵、鶏の脂肪及び筋肉に対して基準値を設定する必要はないと評価している。

## 9. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、平成 16 年 8 月 3 日付け厚生労働省発食安第 0803001 号及び同法第 24 条第 2 項の規定に基づき、平成 18 年 7 月 18 日付け厚生労働省発食安第 0718002 号により食品安全委員会あて意見を求めたチアメトキサムに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：1.84 mg/kg 体重/day

(動物種)                      ラット

(投与方法)                    混餌

(試験の種類)                繁殖試験

(期間)                        2世代

安全係数：100

ADI：0.018 mg/kg 体重/day

## 10. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（EU）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国において、とうもろこし、ぶどう等に、カナダにおいて鶏卵、乳等に、EUにおいてアプリコット、にんじん等に、オーストラリアにおいて、かんきつ等に、ニュージーランドにおいてキウイ等に基準値が設定されている。

## 11. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

チアメトキサム本体

代謝物であるクロチアニジンについては、クロチアニジンとして農薬登録がなされていることから、本剤由来のクロチアニジンの残留も含めて、クロチアニジンとしての基準値を別途設定しているところである。今回、本剤の基準値の見直しに伴い、クロチアニジンの基準値についても同時に検討することとしている。

なお、米国等の基準にあつては、チアメトキサムの基準の対象として、チアメトキサムとチアメトキサム由来のクロチアニジンの和としているが、食品衛生法上はチアメトキサムの基準はチアメトキサムのみを対象とすることとし、クロチアニジンの基準値の対象を、クロチアニジンとチアメトキサム由来のクロチアニジンの和とする。

また、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、暴露評価対象物質としてチアメトキサムが設定されている。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のチアメトキサムが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（推定1日摂取量(EDI)）のADIに

対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 3 参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	EDI / ADI (%) <sup>注)</sup>
国民平均	28.5
幼小児 (1~6 歳)	48.8
妊婦	22.0
高齢者 (65 歳以上)	31.2

注) 作物残留試験成績等がある食品については EDI 試算、それ以外の食品については TMDI 試算を行った。

- (4) 本剤については、平成 17 年 11 月 29 日付け厚生労働省告示第 499 号により、食品一般の成分規格 7 に食品に残留する量の限度 (暫定基準) が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。



チアメトキサム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	2%粒剤	育苗箱処理 50g/育苗箱	1回	125日	圃場A:<0.005/<0.005
					146日	圃場B:<0.005/<0.005
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤	育苗箱処理 50g/育苗箱	1回	125日	圃場A:<0.04/<0.04
					146日	圃場B:<0.04/<0.04
水稻 (玄米)	2	2%粒剤+0.5%粒 剤+10%顆粒水 溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱+ 1.5kg/10a散布+2000倍散 布150L/10a	1+1+1回	20日	圃場A:0.027/0.029 (#)
					21日	圃場B:0.024/0.011 (#)
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤+0.5%粒 剤+10%顆粒水 溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱+ 1.5kg/10a散布+2000倍散 布150L/10a	1+1+1回	20日	圃場A:0.06/<0.04 (#)
					21日	圃場B:0.08/<0.04 (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤+10%顆 粒水溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱 +2000倍散布150L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.045/0.026*(#3回、21日) (#)
					6, 13, 20日	圃場B:0.077*/0.078*(#3回、13日) (#)
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤+10%顆 粒水溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱 +2000倍散布150L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.28/<0.04 (#)
					6, 13, 20日	圃場B:0.027/0.04 (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤+0.5% 粒剤+21%フロ アブル	育苗箱処理50g/育苗箱 +6kg/10a湛水処理 +5000倍散布150L/10a	1+1+2回	21日	圃場A:0.045/0.054 (#)
						圃場B:0.070/0.046 (#)
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤+0.5% 粒剤+21%フロ アブル	育苗箱処理50g/育苗箱 +6kg/10a湛水処理 +5000倍散布150L/10a	1+1+2回	21日	圃場A:0.50/0.04 (#)
						圃場B:0.26/0.02 (#)
水稻 (玄米)	2	2%粒剤	育苗箱処理 50g/育苗箱	1回	134日	圃場A:<0.005/<0.005
					122日	圃場B:<0.005/0.008
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤	育苗箱処理 50g/育苗箱	1回	134日	圃場A:0.04/<0.02
					122日	圃場B:0.06/<0.02
水稻 (玄米)	2	2%粒剤+0.5% 粒剤+10%顆粒 水溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱 +1.5kg/10a散布 +2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.096*/0.064** (*4回、14日/**4回、28日) (#)
						圃場B:0.086/0.076* (*4回、28日) (#)
水稻 (稲わら)	2	2%粒剤+0.5% 粒剤+10%顆粒 水溶剤	育苗箱処理50g/育苗箱 +1.5kg/10a散布 +2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:2.98/0.11 (#)
						圃場B:1.10/0.08 (#)
未成熟とうもろこし (生食用子実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200L/10a, 300L/10a	2回	7, 21, 42日	圃場A:<0.005/<0.005 (#)
						圃場B:<0.005/<0.005 (#)
大豆 (乾燥子実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 150L/10a, 300L/10a	2回	6, 13, 21日	圃場A:<0.005/<0.005 (#)
					7, 14, 21日	圃場B:<0.005/<0.005 (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
大豆 (乾燥子実)	2	30%フロアブル +0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	12mL/kg種子粉衣+6kg/10a 株元処理+2000倍散布 150L/10a, 300L/10a	1+1+2回	6, 13, 21日	圃場A:<0.005/<0.005 (#)
					7, 14, 21日	圃場B:<0.005/<0.005 (#)
小豆 (乾燥子実)	2	30%フロアブル	12mL/kg種子粉衣	1回	126日	圃場A:<0.005/<0.005 (#)
					143日	圃場B:<0.005/<0.005 (#)
小豆 (乾燥子実)	2	30%フロアブル +10%顆粒水溶 剤	12mL/kg種子粉衣+3000倍 散布150L/10a, 300L/10a	1+2回	1, 7, 14日	圃場A:0.014/0.008 (3回、14日) (#)
					1, 7, 14日	圃場B:0.022/0.018 (3回、7日) (#)
いんげん (乾燥子実)	2	10%顆粒水溶剤	3000倍散布 300L/10a	3回	7, 14日	圃場A:0.012*/0.049 (*3回、14日) 圃場B:<0.005 /<0.005
いんげん (乾燥子実)	2	30%フロアブル +0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	12mL/kg種子粉衣+6kg/10a 作条処理+2000倍散布 200L/10a, 175-200L/10a	1+1+3回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01/0.01 (#) 圃場B:<0.01/<0.01 (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	9kg/10a作条土壌混和处理 +2000倍散布200L/10a	1+3回	14, 21, 28日	圃場A:<0.005/<0.005 (#) 圃場B:0.100/0.020 (4回、21日) (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	6kg/10a作条土壌混和处理 +750倍散布25L/10a	1+3回	14, 21, 28日	圃場A:0.02/0.02 圃場B:<0.01/<0.01
さといも (塊茎)	2	0.5%粒剤	6kg/10a植穴処理	2回	30, 37, 45日	圃場A:0.14/<0.01 (#) 圃場B:0.039/<0.01 (#)
さといも (塊茎)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 250L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.022/<0.01 (#) 圃場B:<0.01/<0.01 (#)
さといも (塊茎)	2	0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	6kg/10a植穴処理+ 2000倍散布150L/10a	1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.038/<0.01 (#) 圃場B:<0.01/<0.01 (#)
かんしょ (塊茎)	2	0.5%粒剤	9kg/10a作条土壌混和	1回	112日	圃場A:<0.005/<0.005
					117日	圃場B:<0.005/<0.005
かんしょ (塊茎)	2	0.5%粒剤	9kg/10a作条土壌混和+ 6kg/10a株元土壌混和	1+2回	21, 28, 42日	圃場A:0.012/<0.005 (#) 圃場B:0.006/<0.005 (#)
こんにゃくいも (塊茎)	2	0.5%粒剤	6kg/10a株元土壌混和	1回	132, 139, 146日	圃場A:<0.01/<0.01
					145, 152, 159日	圃場B:0.02/<0.01
てんさい (根部)	2	10%顆粒水溶剤	50倍灌注処理 1L/冊	1回	150, 157, 164日	圃場A:<0.005/<0.005
					156, 163, 170日	圃場B:<0.005/<0.005
だいこん (葉部)	2	70%水和剤	種子粉衣 4.3g/1000種子	1回	66, 73, 80日	圃場A:0.009/<0.005 (#) 圃場B:0.012*/0.006* (*1回、73日) (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
だいこん (葉部)	2	70%水和剤＋ 0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	4.3g/1000種子粉衣＋ 6kg/10a作条処理＋ 2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21日	圃場A: 1.320/0.254 (#) 圃場B: 0.247/0.137 (#)
だいこん (根部)	2	70%水和剤	種子粉衣 4.3g/1000種子	1回	66, 73, 80日	圃場A: 0.006/<0.005 (#) 圃場B: <0.005/<0.005 (#)
だいこん (根部)	2	70%水和剤＋ 0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	4.3g/1000種子粉衣＋ 6kg/10a作条処理＋ 2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21日	圃場A: 0.011/<0.005 (#) 圃場B: 0.028/<0.005 (#)
だいこん (葉部)	2	70%水和剤＋ 0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	2.86g/1000種子粉衣＋ 6kg/10a播溝処理＋ 2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.358/0.136 (#) 圃場B: 0.378/0.122 (#)
だいこん (根部)	2	70%水和剤＋ 0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	2.86g/1000種子粉衣＋ 6kg/10a播溝処理＋ 2000倍散布150L/10a	1+1+2回	7, 14, 21, 28日	圃場A: 0.015/<0.005 (#) 圃場B: 0.010/<0.005 (#)
はくさい (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理 2g/株	1回	67, 74, 81日 48, 55, 62日	圃場A: 0.016/<0.005 圃場B: 0.010/<0.005
はくさい (茎葉)	2	0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株＋3000倍散 布200L/10a, 120～200L/10a	1+3回	3, 7, 14, 21日	圃場A: 0.072/0.007 圃場B: 0.354/0.020
キャベツ (葉球)	2	0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株 ＋2000倍散布200L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A: 0.310/0.028 (#) 圃場B: 0.078/<0.005 (#)
こまつな (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200-700L/10a, 300L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.92/0.10 (#) 圃場B: 2.34/0.360
こまつな (茎葉)	2	0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	6kg/10a播溝処理＋2000倍 散布200-700L/10a, 300L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A: 1.58/0.14 (#) 圃場B: 2.10/0.40
みずな (茎葉)	2	0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	6kg/10a播種時作条処理＋ 2000倍散布300L/10a, 185.2L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.93/0.08 (#) 圃場B: 1.18/0.18 (#)
チンゲンサイ (茎葉)	2	0.5%粒剤＋0.5% 粒剤＋10%顆粒 水溶剤	15g/1L培土床土混和 ＋6kg/10a作条処理 ＋2000倍散布 200L/10a, 220-250L/10a	1+1+2回	3, 7, 14日	圃場A: 0.78/0.09 (#) 圃場B: 2.82/0.32 (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	59, 61, 65日 56, 58, 62日	圃場A: 0.018*/<0.005 (*1回、65日) 圃場B: 0.060/<0.005
ブロッコリー (花蕾)	2	0.5%粒剤＋10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株＋ 3000倍300L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14日	圃場A: 0.825/0.086 圃場B: 0.359/0.019

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
カリフラワー (花蕾)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.128/<0.005 (#) 圃場B:0.055/<0.005 (#)
レタス (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理1g/株+ 2000倍散布 250L/10a, 300L/10a	1+2回	7, 14日	圃場A:0.290/0.015* (*3回、14日) (#) 圃場B:0.614/0.024* (*3回、14日) (#)
サラダ菜 (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理1g/株	1回	59, 63, 70日 42, 46, 53日	圃場A:0.40*/<0.05 (*1回、70日) (#) 圃場B:1.36*/<0.05 (*1回、46日) (#)
サラダ菜 (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理1g/株+ 2000倍散布300L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:7.81/0.10 (#) 圃場B:9.87/0.09 (#)
リーフレタス (茎葉)	2	0.5%粒剤	植穴処理1g/株	1回	61, 65, 72日 62, 66, 73日	圃場A:0.28*/<0.05 (*1回、65日) (#) 圃場B:<0.05/<0.05 (#)
リーフレタス (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	1kg/株 植穴処理 +2000倍散布300L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A:7.34/0.20 (#) 圃場B:3.14/0.07 (#)
ねぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤	9kg/10a作条処理	1回	117, 124, 131日 69, 77, 84日	圃場A:0.094/0.022 圃場B:0.078/0.022
ねぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	9kg/10a作条処理 +1000倍200L/10a散布	1+3回	3, 7, 14, 21日 3, 6, 14, 21日	圃場A:0.566/0.059 圃場B:0.557/0.076
にら (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	6kg/10a作条処理 +2000倍200L/10a, 230L/10a散布	1+3回	14, 21日	圃場A:0.74/0.19 (#) 圃場B:0.15/0.42 (#)
にら (茎葉)	1	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	6kg/10a作条処理 +2000倍200L/10a, 230L/10a散布	1+3回	14日	圃場A:0.38/0.67 (#)
わけぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤	9kg/10a作条処理	1回	63, 70, 77日 23, 30, 36日	圃場A:0.05/<0.05 (#) 圃場B:0.61/0.06 (#)
わけぎ (茎葉)	2	0.5%粒剤+0.5% 粒剤+10%顆粒 水溶剤	9kg/10a作条処理+9kg /10a株元処理+2000倍散 布200L/10a, 300L/10a	1+1+3回	3, 7, 14日	圃場A:1.28/0.08 (#) 圃場B:3.96/0.21* (*5回、7日) (#)
アスパラガス (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a	3回	7日	圃場A:<0.005/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005
セロリ (茎葉)	2	0.5%粒剤	株元処理2g/株 +植穴処理2g/株	2回	75, 82, 89日 98, 105, 112日	圃場A:<0.1/<0.1 圃場B:0.30*/<0.1 (*2回、112日)
トマト (果実)	1	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	44日	圃場A:0.008/<0.005

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	1	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株 +3000倍散布200L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.104/0.018
トマト (果実)	1	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株 +2000倍散布200L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.077/0.010
トマト (果実)	1	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株 +2000倍散布200L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.154*/0.024* (*4回、3日)
トマト (果実)	1	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株 +2000倍散布200L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.156*/0.038 (*4回、3日)
ミニトマト (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	72日 60日	圃場A:0.06/0.02 圃場B:<0.02/<0.02
ミニトマト (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布300-360L/10a, 350L/10a	1+1回	1, 7, 14日	圃場A:0.44/0.10* (*2回、7日) 圃場B:0.08*/0.08* (*2回、7日)
ミニトマト (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍 300-360L/10a, 350L/10a 散布	1+2回	1, 7, 14日	圃場A:0.79/0.16* (*3回、7日) 圃場B:0.17*/0.19* (*3回、7日)
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	42日 82日	圃場A:0.023/0.008 圃場B:<0.005/<0.005
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+3000倍散 布180L/10a, 300L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.200/0.016 圃場B:0.267/0.016
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布180L/10a, 300L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.411/0.044 圃場B:0.310/0.034
ピーマン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布180L/10a, 300L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.439/0.032 圃場B:0.402/0.056
なす (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	97日 108日	圃場A:<0.005/<0.005 (#) 圃場B:<0.005/<0.005 (#)
なす (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+3000倍散 布200L/10a, 250L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.069/<0.005 (#) 圃場B:0.040/<0.005 (#)
なす (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布200L/10a, 250L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.121/<0.005 (#) 圃場B:0.054/<0.005 (#)
なす (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布200L/10a, 250L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.106/<0.005 (#) 圃場B:0.055/<0.005 (#)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ししとう (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	定時的植穴処理1g/株+ 3000倍散布 150L/10a, 250L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.53*/0.08* (*4回、3日) 圃場B:0.60/0.05* (*4回、3日)
とうがらし (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	定時的植穴処理1g/株+ 2000倍散布200L/10a, 100-150L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.76/0.16 (#) 圃場B:0.34/0.03* (*4回、3日) (#)
きゅうり (果実)	1	0.5%粒剤	植穴処理1g/株	1回	43日 34日	圃場A:0.008/<0.005 圃場B:0.005/<0.005
きゅうり (果実)	2	10%顆粒水溶剤	3000倍散布 250L/10a, 200L/10a	2回	1日	圃場A:0.076/0.005 圃場B:0.104/0.006
きゅうり (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理1g/株+2000倍 散布250L/10a, 200L/10a	1+2回	1日	圃場A:0.172/0.010 圃場B:0.162/0.008
きゅうり (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理1g/株+2000倍散 布250L/10a, 200L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.141/0.008 圃場B:0.132/0.008
すいか 果実	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布176.5-200L/10a, 76.1-272.4L/10a	1+3回	1, 3, 7日	圃場A:0.017/<0.005 圃場B:0.046/0.007
メロン (果実)	2	0.5%粒剤	植穴処理2g/株	1回	83日 87日	圃場A:0.008/<0.005 圃場B:0.007/<0.005
メロン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布250L/10a, 300L/10a	1+3回	3, 7, 14日	圃場A:0.049*/0.006* (*4回、14日) 圃場B:0.029*/<0.005 (*4回、14日)
メロン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布250L/10a, 300L/10a	1+3回	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35日	圃場A:0.023/0.008* (*4回、35日) 圃場B:0.064*/0.014** (*4回、14日/**4回、28日)
メロン (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布200L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:0.008*/<0.005 (*3回、14日) 圃場B:0.010*/<0.005 (*3回、7日)
にがうり (果実)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	植穴処理2g/株+2000倍散 布100-200L/10a, 202L/10a	1+3回	7日	圃場A:0.17/<0.01 (#) 圃場B:0.06/0.01 (#)
食用へちま (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200L/10a, 180L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.11/<0.02 圃場B:0.09*/<0.02 (*3回、3日)
えだまめ (さや)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200L/10a, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.061/0.020 (#) 圃場B:0.025/0.020 (#)
えだまめ (さや)	2	30%フロアブル +0.5%粒剤+ 10%顆粒水溶剤	12mL/kg種子粉衣+6kg/10a +2000倍散布 200L/10a, 400L/10a	1+1+2回	7, 14, 21日	圃場A:0.090/0.028 (#) 圃場B:0.025/0.019 (#)

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
未成熟いんげん (さや)	2	10%顆粒水溶剤	3000倍散布 300L/10a, 150L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:0.071/0.074 圃場B:0.053/0.118
ほうれんそう (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a, 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:1.26/0.68 圃場B:2.62/0.75
ほうれんそう (茎葉)	2	0.5%粒剤+10% 顆粒水溶剤	株元処理6kg/10a+2000倍 散布200, 300L/10a, 250L/10a	1+2回	3, 7, 14日	圃場A:0.96/0.58 圃場B:4.02/1.20
オクラ (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 150-210L/10a, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.30/<0.01 圃場B:0.21/0.01* (*3回、3日)
れんこん (塊茎)	2	0.5%粒剤	湛水処理6kg/10a	2回	14, 21, 28, 35日	圃場A:0.008/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005
れんこん (塊茎)	2	0.5%粒剤	湛水処理6kg/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:0.006/<0.005 圃場B:<0.005/<0.005
ウコギ (塊茎)	2	10%顆粒水溶剤	3000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:0.4/<0.2 圃場B:<0.2/<0.2
エンサイ (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14日	圃場A:0.07/<0.02 圃場B:0.42/0.04
みょうが (花穂)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.02/<0.02 圃場B:<0.02/<0.02
モロヘイヤ (茎葉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 200L, 206L, 211L/10a, 200L/10a	3回	7, 14日	圃場A:0.66/0.43 圃場B:0.36/0.34
温州みかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.040*/0.013 (*3回、28日) 圃場B:0.008/<0.005
温州みかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.018*/0.007 (*2回、28日) 圃場B:<0.005/<0.005
温州みかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.65/0.28 圃場B:0.74/0.12
温州みかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.47/0.24 圃場B:0.58/0.12
温州みかん (果肉)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.080/0.014* (*3回、28日)

農作物	試験圃 場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
温州みかん (果肉)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 1000L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:0.094*/0.022** (*3回、21日/**3回、28日) (#)
温州みかん (果皮)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:1.99/0.51* (*3回、21日)
温州みかん (果皮)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 1000L/10a	3回	14, 21, 28日	圃場A:1.12*/0.47* (*3回、21日) (#)
温州みかん (果肉)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:0.030*/0.008* (*3回、21日)
温州みかん (果肉)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 1000L/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:0.050/0.011* (*3回、28日) (#)
温州みかん (果皮)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:1.00/0.30* (*3回、21日)
温州みかん (果皮)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 1000L/10a	3回	14, 21, 28, 35日	圃場A:1.36/0.36 (#)
なつみかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42, 49, 64日 14, 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.024/0.010* (*3回、64日) 圃場B:0.018*/0.008* (*3回、42日)
なつみかん (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	2回	28, 42, 49, 64日 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.006*/0.005 (*2回、42日) 圃場B:0.008/<0.005
なつみかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42, 49, 64日 14, 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.38/0.14* (*3回、49日) 圃場B:0.55/0.13* (*3回、42日)
なつみかん (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	2回	28, 42, 49, 64日 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.20/0.04 圃場B:0.20*/0.08* (*2回、42日)
なつみかん (全果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42, 49, 64日 14, 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.1/0.04 圃場B:0.14/0.04
なつみかん (全果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	2回	28, 42, 49, 64日 28, 42, 49, 60日	圃場A:0.06/0.02 圃場B:0.07/0.02
なつみかん (果実全体)	2	10%顆粒水和剤	2000倍散布 1224L/10a, 600L/10a	3回	14, 21, 28, 45日	圃場A:0.48*/0.03** (*3回、21日/**3回、45日) (#) 圃場B:0.22/0.03* (*3回、21日)
すだち (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A:0.040/0.038



農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm) 【チアメトキサム/クロチアニジン】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
すだち (果実)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 21, 28, 45日	圃場A:0.13/0.06
かぼす (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A:0.058/0.010
かぼす (果実)	1	10%顆粒水和剤	2000倍散布 640L/10a	3回	14, 21, 28, 45日	圃場A:0.05/0.02
ゆず (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a	3回	14, 28, 42日	圃場A:0.097/0.063
りんご (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a, 700L/10a	2回	7, 14, 21, 28日	圃場A:0.064/0.006* (*2回、21日) 圃場B:0.050/0.010
りんご (果実)	2	10%顆粒水和剤	2000倍散布 500L/10a, 700L/10a	2回	7, 14, 21, 28, 35日 7, 14, 19, 28, 35日	圃場A:0.092*/0.008* (*2回、35日) 圃場B:0.044*/<0.005 (*2回、19日)
日本なし (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 400L/10a	3回	14, 21, 28日 28日	圃場A:0.045/0.016* (*3回、21日) 圃場B:0.018/0.011
日本なし (果実)	1	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 400L/10a	4回	12, 19日	圃場A:0.039/0.016* (*4回、19日) (#)
日本なし (果実)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 300L/10a, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.32*/<0.02 (*3回、3日) 圃場B:0.14*/0.04** (*3回、3日/ **3回、14日)
もも (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 400L/10a, 350L/10a	3回	14, 21, 28日 14, 17, 24日	圃場A:0.008/0.046 圃場B:0.059*/0.080* (*3回、17日)
もも (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 400L/10a, 350L/10a	3回	14, 21, 28日 14, 17, 24日	圃場A:0.10/0.15 圃場B:0.23*/0.26 (*3回、17日)
もも (果肉)	2	0.5%粒剤	200g/樹 地表表面処理	1回	30日	圃場A:<0.02/<0.02 (#) 圃場B:<0.02/<0.02 (#)
もも (果皮)	2	0.5%粒剤	200g/樹 地表表面処理	1回	30日	圃場A:<0.1/<0.1 (#) 圃場B:<0.1/<0.1 (#)
もも (果肉)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.12*/0.08* (*3回、7日) 圃場B:0.14/0.12* (*3回、14日)
もも (果皮)	2	10%顆粒水溶剤	2000倍散布 500L/10a, 400L/10a	3回	1, 3, 7, 14日	圃場A:2.64/0.53* (*3回、7日) 圃場B:1.90/0.61